

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイセンターこすもす		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数) 5名	
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数) 2名	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 25日		令和7年 3月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数) 9名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年度が変わっても対象者の支援に同じ職員が基本対応しており、担当が変わっても対象者の個性、特性等を理解しており、担当に対しても適切なアドバイスが行えると思います。また、対象者自身も慣れ親しんでいる職員が対応することで安心できていると思います。	・年度替わりで担当が変わった際は、本人の状況や今までの経過等を年度初めに担当にお伝えし対象者の特性等情報共有を細かく実施しています。	・今後も本人の成長の一助となるよう、各機関の担当者(担任他)と綿密な対応を行っていきます。
2	・対象者への支援は基本1対1で実施しており、本人の細かな変化に即座に対応することができ、適切な支援の提供に努めています。	・対象者への支援終了時、本人の様子を細かく担当にお伝えしています。また、行動分析も併せて実施し、担当へお伝えし担当が対応する際の助となるようアドバイス等を行っています。	・学校は教育の場であり一人ひとりへの教育指導が主になりますが、本人の様子等を細かく分析し、一人ひとりに適した環境の提供も併せて行うことで安定した状況で学校生活を送れるように配慮し成長を促せるように努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との綿密な連携が難しい。	・保護者会は発足しておらず、家族も共働きの方が多いので、保護者との対面による情報共有の場が面談等に限られてしまう。	・毎月家族に記録を渡して本人の様子をお伝えしており、各計画書類等も面談等直接対面で話し合い計画を立てているが、家族によっては対面での対応が行えず電話等の対応になってしまうケースも今まではあったが、家族の都合を優先し直接お会いして、対象者へのより良い対応が行えるよう努めていきたいと思っています。
2			
3			